〈学校だより〉

と も そ だ ち

令和８年１１月２日　諏訪市立城南小学校　№８

「 笑顔のために 」

１０月３０日に行われた音楽会。各学年の歌声や合奏の音色、そして、全校児童が心を一つにして歌う姿に、心を動かされた音楽会となりました。全校児童のみなさん、すてきな音楽をありがとうございました。

音楽会の最後に、全校児童で歌った「地球星歌」。その歌詞には、次のような一節があります。

「あなたの毎日が世界を創り　愛する想いが 地球へと広がる
私は祈る 明日のために まだ見ぬ あなたの笑顔のために」

目の前で歌う子どもたちの姿を見ながら、これからの予測困難な時代を生き、その先にある未来を笑顔あふれる社会に創り上げていくのは、この子どもたちであり、未来を担う大切な存在なのだと、改めて強く感じました。

さて、城南小学校では毎年、音楽会を前に、外部講師の先生をお招きして、合唱や合奏の指導をしていただいています。指導が行われた日、給食を一緒にいただきながら、講師の先生に「指導のコツのようなものはあるのですか」と尋ねてみました。

先生は少し考えながら、「コツというものはないのだけれど……」と前置きされ、次のようなお話をしてくださいました。

「今の表現でよいと思っている子どもたちが、『こんな表現もあるんだ』と気づけるようにすることを大切にしています。『こんな表現にしてほしい』ということではなく、『こんな表現もある』ということ。その表現に気づき、表現の幅が広がっていく。そして、その変化を楽しむ子どもたちの姿がいいんですよね。」

その言葉には、専門家としての深い見識が込められていると感じました。私自身、その意味を十分に理解できているかどうかはわかりませんが、音楽の指導に限らず、さまざまな教育活動に通じる大切な考え方だと思いました。

私たちは、ともすると、子どもたちに「こうしてほしい」「こうあるべきだ」と、自分たちが望む姿を示すことに意識が向きがちです。しかし、大切なのは、子どもたち自身が新たな表現や考え方に気づき、自分の表現の幅を広げていくこと、そして、その変化を自ら楽しめるようになることではないでしょうか。

子どもたちが自ら気づき、考え、表現する。その過程を大切にし、一人一人の可能性を広げていくことが、私たち教職員に求められているのだと思います。

私自身も、音楽会という一つの行事を通して、多くのことを学ぶことができました。子どもたちの成長を支える立場として、今回の学びをこれからの教育活動にも生かしていきたいと思います。



城南ＮＯＷ

１０月は、諏訪中生のみなさんとの交流がありました。
教職員の学ぶ場（研修）もありました。

☆『諏訪中生による
読み聞かせ』
（10／5）



☆『諏訪中吹奏楽部
による演奏会』
（10／20）



☆『諏訪地区
学校と授業を
考える会
２年２部
授業公開』
（10／7）





☆『音楽会
全校合唱
「地球星歌」』
（10／30）



連絡

＜今後の予定＞

１１月　２日（月）～３０日（月）なかよし月間
５日（木）城南ふれあい講座（高学年のみ）
１３日（金）５年工業メッセ見学
１４日（土）ＰＴＡ秋祭り、城南フェス → 本日リーバー配信の通知をご覧ください
１５日（日）みんなで本を読む日
１８日（水）マラソン記録会
２０日（金）、２５日（水）なかよし校外学習
３０日（月）手作り弁当の日
１２月　１日（火）避難訓練④
４日（金）４、５、６年授業参観日
８日（火）１、２、３年授業参観日
１７日（木）児童会祭り
１９日（土）チャレンジショップ
２０日（日）みんなで本を読む日
２５日（金）～１月６日（水）年末年始休業

↑城南小ホームページ
ご覧ください

【文責：校長　髙寺 威】